

海外留学奨学金パンフレットのご利用にあたって

1. はじめに ～海外留学奨学金について～

留学前に資金の準備をすることは現実的な留学計画を立てるうえで欠かせません。多くの国々では、滞在許可、ビザの発給に際し留学費用をまかなえる経済力を証明することを求めています。また、ビザの種類によりますが、現地でのアルバイトを制限あるいは禁止している国が多くなっています。留学先での奨学金も、自国の学生優先の場合が多く、日本人学生に与えられる機会はあまり多いとは言えません。

このような状況を考慮すると、資金は留学する前に日本国内で確保する必要があります。現地での収入を資金計画に安易に組み込むことは避けましょう。

本パンフレットは、日本人を対象とした海外留学奨学金制度をまとめたものです。ここに掲載された情報が、留学を希望する方々にとってすばらしいチャンスをつかむきっかけになれば幸いです。

なお、奨学金応募時には、以下に留意してください。

(1) 日頃からの準備

学業に励み良い成績を取る。また、留学先国の言語を学習し、資格試験を受験する（スコアを準備する）。

(2) 出願にあたっての注意

- ・奨学金提供の目的をよく把握し、正確に書類を記入・作成する。
- ・書類は不備がないように準備し、簡潔にわかりやすく、指定の字数・枚数を守って作成する。
- ・明確な研究計画を用意する。
- ・わからない部分は奨学金団体に問い合わせて明確にする。
- ・提出前に第三者に読んでもらう。

2. 各種奨学金制度

【日本学生支援機構 (JASSO)】 当機構が有利子貸与型 (返済が必要で) 及び給付型の奨学金を実施しています。

【地方自治体奨学金】 国内地方自治体や国際交流協会等が、住民等、その自治体に関係のある人を対象に実施しています。返済が必要なものもあります。

【外国政府奨学金】 外国政府や外国政府関係団体がその国・地域の大学などに留学する日本人に対して実施しています。なお、本パンフレットに掲載されていない国でも日本人を対象とした奨学金制度がある場合がありますので、留学希望国の大使館または各国教育機関に直接お問い合わせください。

【民間団体奨学金】 民間企業・団体が実施しています。

※一般的に、語学留学より大学留学、大学留学より大学院留学、というように、在学段階が高くなるほど応募できる奨学金の種類は増えますが、いずれの場合も応募者は多く、狭き門といえます。留学開始時期の1年以上前に応募を締め切るものもありますので、早いうちから情報を収集しましょう。

3. 奨学金以外の資金 (教育ローン)

奨学金以外に、日本政策金融公庫 (国民生活事業) をはじめとする金融機関の教育ローンを利用する方法もあります。詳しくは下記または各金融機関にお問い合わせください。

① 日本政策金融公庫 国民生活事業 (国の教育ローン)

連絡先: 教育ローンコールセンター 0570-008656 (ナビダイヤル)
03-5321-8656 (公衆電話等から)

(受付時間: 月～金曜日9:00～21:00、土曜日9:00～17:00)

※日曜日、祝日、年末年始 (12月31日～1月3日) 以外

国の教育ローンホームページ <http://www.jfc.go.jp/k/kyouiku/index.html>

② その他の金融機関の教育ローン

留学に利用できるものもあります。詳しくは各金融機関にお問い合わせください。

4. 海外で募集される奨学金

留学希望先の学校の奨学金 (授業料減免なども含む) と、現地の研究所や民間の団体による奨学金があります。

【海外で募集される奨学金に関する主なチェックポイント】

- 返還義務の有無: 給付型 (返還義務なし) か貸与型 (返還義務あり) か。
- 学校の選択、入学手続きは、本人が行うのか、支給団体が行うのか。
- 応募資格: 学生一般 (現地学生も含む) が対象か、外国人留学生のみが対象か、特定の国出身者のみが対象か。
- 応募時期: いつの時点で応募可能か。
奨学金への応募と留学希望先校への出願を同時進行できるもの、入学後に初めて応募できるもの、入学後一定年数経過後、優秀な成績を示した学生に支給されるもの、などがあります。
- 学力や家計の基準: 成績優秀者に与えられるものか、経済状況に応じて与えられるものか。
- 趣旨: 何らかの仕事、課題が義務づけられているか。
学校による奨学金の中には、専攻に関連する分野で助手として研究や授業、事務の手伝いをするのが条件のものもあります。支給団体によっては、一定の研究成果の提出を求める場合もありますので、それぞれの奨学金の趣旨をよく確認する必要があります。

【海外で募集される奨学金の情報入手方法】

在日大使館などの公的な留学情報提供機関・現地の教育省などの関連ホームページ (当機構の海外留学情報ページ http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info.html 上の“海外留学に役立つウェブサイト集”参照) を参考にして調べましょう。もちろん、留学希望先の学校にも問い合わせてみましょう。

5. 本パンフレットについて

- ・2011年7月に海外留学奨学金に関するアンケート調査を行い、回答のあった情報を掲載しています。
- ・海外にある教育機関 (高校、語学学校、専門学校、短期大学、大学、大学院等) に在籍して、教育あるいは指導を受ける形態での留学に対して支給される奨学金を掲載しています。
- ・次のような形のものについては掲載しておりませんので、各奨学金団体に直接お問い合わせください。
 - 国内外の学校が在籍生のみを対象に実施している奨学金
 - 交換留学制度
 - 国際親善を目的としたホームステイ等に対する助成
 - 海外での学会参加、教育機関に所属しない調査旅行
 - 海外での研究業務に対する助成等
 - 留学プログラム経費の一部を割引く形での奨学金
- ・原則として2011年に募集が行われる団体等の情報を掲載していますが、募集時期等の事情により過去の情報を掲載している場合があります。その場合は当該年度が記載されていますので参考にしてください。
- ・掲載内容はあくまで概要であり、奨学金によってはさらに応募資格の制限等がある場合もあります。詳細は必ず各団体に直接問い合わせ、最新の募集要項等を入手してください。
- ・本パンフレットは、希望者に無料配布 (送料は受取人負担) しているほか、当機構ホームページにも掲載しています。
詳しくは以下のページをご覧ください。

http://www.jasso.go.jp/study_a/pamphlet_j.html